

## 市長公約の進捗状況表

※進捗状況を星の数で評価 ☆～☆☆☆

大項目	項目	進捗状況	取組状況(今後の予定含む)
1 都市基盤の再整備で地域社会の構築	(1) 新見・大佐・神郷・哲多・哲西の拠点性を強化し、便利な地域社会の構築	☆☆☆	地域運営組織が令和4年度に新たに7地域で設立され18組織となり、3地域で地域づくりセンターを整備した。引き続き、地域運営組織の設立を支援していく。 地域運営組織が一定数設立された後、総合計画にある8エリアごとに連携を図り、多様な地域社会を目指す。
	(2) 旧市街地を活性化しにぎわい再生	☆☆☆	新見駅周辺のまちづくりでは、令和4年9月に「新見駅周辺まちづくり基本構想」を策定した。同構想に基づき「まちづくりプラットフォーム」を令和5年度初頭に構築し、駅周辺のにぎわい創出に取り組む。
	(3) 県道新見日南線の改良と金谷地区区画整理事業早期着手	☆☆☆	県道新見日南線の市街地部分の改良について、期成会会長として、国や県に対し積極的に要望活動を行った。 金谷地区については、都市計画マスタープランおよび立地適正化計画において新市街地エリアとして位置づけ、地権者説明会のほか地質調査、現地測量、基本計画作成等を実施した。 令和5年度は事業計画の作成、想定換地設計等を行い、令和5年度末の都市計画決定、令和6年度初頭の事業認可を目指し取り組む。
	(4) 新見駅のバリアフリー化と美術館を含めた新見駅周辺整備の見直し	☆☆☆	「新見駅周辺まちづくり基本構想」の中で、新見駅のバリアフリー化と美術館のリニューアルの検討を掲げており、JRなど関係機関と協議を進めているところである。 引き続き新見駅周辺のまちづくりと連携を図りながら事業化に向けた検討を進める。
2 稼げる地場産業の振興	(1) 第一次産業の所得増加に向けた積極的支援、競争に勝てる体質への転換促進	☆☆☆	農業においては、産地の競争力強化のため、担い手の育成、特に新規就農者の確保に取り組んでおり、令和4年度には、豊永営農団地の拡張工事や新規就農者に対する資材費の嵩上げ助成などを実施した。 令和5年度では、新たに耕畜連携事業補助金やスマート農業推進事業などを創設し地域循環型農業を推進していく。 畜産業においては、千屋牛の増頭に取り組んでおり、令和4年度では、全国和牛能力共進会鹿児島大会へ岡山県代表として7頭を出品し、優秀な成績を残したほか、千屋牛の改良を進めるため優良精液導入事業などを実施した。 令和5年度では、千屋牛の生産基盤の増強に取り組むため、大規模増頭を行う畜産農家に対し、施設整備等への助成制度の創設などより一層の千屋牛増頭を図っていく。 林業においては、令和4年度に「未来へつなぐ新見の林業会議」を設立し、協議を重ね、「新見市森林ビジョン」を策定した。今後は、林業の成長産業化を目指し、各種林業施策の推進を図っていく。
	(2) 農協と連携し付加価値の高い製品の開発と販路の開拓	☆☆☆	りんどうの加工品開発事業とラズベリーの試験栽培を行った。りんどうの加工品開発事業においては、りんどう染め製品の開発を完了し、令和5年度からの販売に向け販路の確保に取り組んでいる。 ラズベリーの試験栽培においては、本市での気候条件などを考慮した栽培結果を得ることができた。今後は、結果に基づき栽培マニュアルの作成など関係機関と特産品化に向けた取組を行う。 今後も、新たな特産品となりうる作物及び加工品を開発するため、引き続き調査研究していく。

## 市長公約の進捗状況表

※進捗状況を星の数で評価 ☆～☆☆☆

大項目	項目	進捗状況	取組状況(今後の予定含む)
2 稼げる地場産業の振興	(3) 基幹産業である既存の商工業や鉱業の雇用の確保と支援	☆☆☆	<p>これまで取り組んできた就職相談員を中心とした、IJUターン就職希望者と求人企業とのマッチングは、適切な雇用確保の支援に繋がっている。今後も、引き続き地道な情報収集と効果的な情報発信を実施する。</p> <p>令和4年度の対象資格拡充の改正により資格取得支援事業の申請が増加しており(令和3年度:136件→令和4年度:177件)、雇用定着の促進が図られている。</p> <p>令和4年度にICOCAを活用した地域活性化プロジェクト事業を実施し、約8割の方が利用され市内の消費拡大につながっている。また、令和3年度に作成した産業連関表を活用し、市内経済の活性化や商工業者の支援に繋げる。</p>
	(4) 地元の就業者(農業含む)への支援策実施による労働力確保(新規就職奨励金新設・市外からの転入者へも支援継続等)	☆☆☆	<p>前年に引き続き、市内に定住し就業した新規学卒者にふるさと定住支援金を支給し、地域の担い手となる若年者の定住促進と地域の活性化を図った。</p> <p>これまで取り組んできたIJUターン就職支援事業は相談件数、就職件数ともに増加している。今後も引き続き取り組むとともに、R4年度に作成したWEB版市内企業ガイドを活用し市内就職の促進を図る。</p> <p>就農については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が見送られていた新規就農相談会へ積極的に参加し就農相談を行った。</p> <p>今後もあらゆる機会でも新規就農者の確保に努める。</p>
	(5) 観光資源の掘り起こしによる交流人口増加支援	☆☆☆	<p>令和4年度は「にーみんのインスタグラム」を活用して市内観光地のPRを実施したほか、(一社)新見市観光協会が主催した「土下座まつり拝観ツアー」や、岡山DCの一環として実施したJR西日本が運行する「瑞風」の新見市への乗入など新たな取組を行ない、観光客の誘客につなげることができた。</p> <p>今後は、引き続き「にーみんのインスタグラム」や新見市観光ホームページ等のSNSを通じて情報発信するとともに、(一社)新見市観光協会に配置している「観光戦略マネージャー」と連携し、市内外の観光関連事業者等との関係強化や新たな観光商品の開発等を行い、観光資源を生かした交流人口の増加を目指す。</p>
3 管有理事とに危備機え管る理リス徹ク底	(1) 新型コロナウイルス感染症対策管理の徹底 希望者全員のPCR検査の助成	☆☆☆	<p>令和4年度は、多くの市民や医療従事者の皆さんの協力により、県下15市でトップのワクチン接種率となった。</p> <p>令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の収束に向け、追加接種を着実に進める。また、5類感染症に移行するまでPCR検査費用の助成を継続する。</p>
	(2-1) 防災減災計画による万全の体制 ※新見市都市計画区域 市街地 雨水排水計画の早期実現	☆☆☆	<p>市街地の雨水対策事業について、令和4年度は、前年度までに実施した、新見・高尾地区の浸水シミュレーションの結果に基づき、測量・詳細設計を実施。令和5年度は同地区の、雨水対策工事を実施予定。</p> <p>令和4年度において、風木谷川の樋門改修工事と太田谷川の河川改修工事を実施。令和5年度は、太田谷川の河川管理道の未着手部分の工事を実施し、両河川の防災対策事業の完了を目指す。</p>
	(2-2) 防災減災計画による万全の体制 ※山地災害防止のための治山 安定事業の緊急実施	☆☆☆	<p>令和4年度は高尾、大佐の計2箇所の事業を実施するとともに、上市の1箇所も事業着手した。</p> <p>さらに、令和5年度においては、新たに上市、坂本、大佐3箇所の計5箇所の事業着手が予定されており、引き続き、山地災害防止に向けて県と調整を行っていく。</p>

## 市長公約の進捗状況表

※進捗状況を星の数で評価 ☆～☆☆☆

大項目	項目	進捗状況	取組状況(今後の予定含む)
4 健やかで 安心な医療・ 福祉体制	(1) 出産祝い金の増額や子育て支援の充実で若い世代の負担を軽減	☆☆	令和3年度から、出生祝金を1人当たり10万円に増額(以前は出生数に応じて1万円～10万円) 令和4年度は国の事業を活用し、1人当たり最大20万円を給付 引き続き、子育て支援の充実に努めていく。
	(2) 保育所と地域をつなぐ幼老共同複合構想の実現	☆☆	令和5年3月に哲多認定こども園を整備。本園は、地域住民との交流が活発にできるよう遊戯室のスペースを広く設けている。 他の保育施設等においても、引き続き地域の状況を踏まえた幼老の交流機会の確保に努めていく。
	(3) 社会的弱者(障がい者・高齢者など)が安心して暮らせる体制の構築	☆☆	地域に密着した情報共有、福祉課題解決の場として小地域ケア会議を日常生活圏域ごとに開催している。現在市内36地区において、買い物や移動支援等、その地域ごとの課題について住民と行政、社会福祉協議会等が協議し、課題解決に向けた取組を行っている。 令和4年度から、新たに正職員として精神保健福祉士を採用し、ほほえみ広場にいみに配置し、障害者支援の充実を図った。 災害時に支援が必要な人(社会的弱者)に対する一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画に着手し、4地区(150人分)の計画を作成することができた。令和5年度もモデル地区を選定し、推進していく。
	(4) 通院や買い物の移動に困らない交通ネットワークの整備	☆☆	令和4年度は、本市の交通体系の再構築に向け、地域公共交通計画を策定するとともに、新たな交通体系として新見北部、神郷、哲西地域で予約型乗合タクシーの実証運行を行った。 令和5年度からは、地域公共交通計画に基づき、地域特性に応じた持続可能な交通体系の構築や利用しやすい環境の整備に取り組む。また、乗合タクシーについては、新見北部、神郷、哲西地域で本格運行に移行し、新たに大佐地域で実証運行を行う。さらに、運転免許証を持たない75歳以上の高齢者等を対象にタクシー料金の一部を助成し、外出機会の増進を図る。
	(5) 地域医療と救急医療体制の充実(県南の総合病院等と協定を結び安心できる医療体制の確保)	☆☆	地域医療については、令和3年度に引き続き、看護学生奨学支援金やドクターネットワーク事業、岡山大学との協定に基づく寄付講座等により医療従事者を確保し、公設診療所を継続的に運営した。 令和4年度に期限を迎える岡山大学との協定については、令和9年度まで継続が決定。 看護学生奨学支援金は、市内看護師が高齢化している状況に鑑み、令和5年度から制度改正を行い新たに目標人数を設定し実施する。 救急医療体制の充実については、ドクターカーの運行時間が日中にも拡大され、天候不良でドクターヘリが対応できない時の補完的役割を果たすものと期待される。今後、倉敷中央病院と連携をとり重症傷病者の搬送体制の充実を図っていく。
	(6) 高齢者世帯への生活支援	☆☆	「第8期新見市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、独居高齢者戸別訪問、緊急通報サービス、高齢者等住宅改造助成、養護老人ホームへの措置など各種サービスを提供した。

## 市長公約の進捗状況表

※進捗状況を星の数で評価 ☆～☆☆☆

大項目	項目	進捗状況	取組状況(今後の予定含む)
4 医療・福祉や健康・福祿で安心な体制	(7) 生涯暮らし続けられる体制づくり (介護担い手の確保)	☆	令和4年度は、介護学生奨学支援金給付事業により2人に奨学金を給付した。 令和5年度は、従来の大学・専門学校在学の学生以外に、翌年度進学を希望する高校生にも募集をかけることとし、介護福祉士を目指す学生を増やす対策に取り組み、また、復職者の掘り起こしや離職者を減らす対策の検討を行い介護人材の確保に取り組む。
5 幼児教育から大学までの一貫した体制の確立	(1) ICT教育の推進 オンライン指導や遠隔授業の環境整備(家庭と学校を繋ぐ)	☆☆☆	iPadやデジタル教科書、学習ソフト、電子黒板等を効果的に活用した双方向の授業を行った。 地元IT企業と連携し、ドローンを活用した新たなプログラミング教育カリキュラムを導入した。
	(2) 新見高校の存続の取り組み 通学交通費への半額助成支援	☆☆☆	令和3年度に市内高校に通学する生徒の定期券購入費用支援制度を創設。引き続き市内高校の魅力化を図る。
	(3-1) 給食の提供 新学校給食センターの新設に伴い高校への給食提供	☆	現時点では、給食センターの調理能力と、児童、生徒数の関係から、早期の実施は困難と判断している。
	(3-2) 給食の提供 将来的には一人暮らし老人・高齢者世帯への給食サポート体制を確立	☆	新見市社会福祉協議会の友愛訪問活動や、地域団体主体での弁当配布の取組内容を踏まえ、学校給食センターの調理能力と今後の児童、生徒数、学校数の推移を勘案して研究していく。
	(4) 新見公立大学と共生する街づくり推進「学生を応援するまちづくり条例」を制定	☆☆	学生の住居と活動場所を確保するため、令和3年度に新見駅西エリアの居住棟を整備した。 新見公立大学とは平成30年4月に連携協定を締結し、条例の有無にかかわらず各種事業を推進していく。
6 人口減少対策	(1) ※再掲 新見高校の存続の取り組み 通学交通費への半額助成支援	☆☆☆	令和3年度に市内高校に通学する生徒の定期券購入費用支援制度を創設。引き続き市内高校の魅力化を図る。
	(2) ※再掲 地元の就業者(農業含む)への支援策実施による労働力確保(新規就職奨励金新設・市外からの転入者へも支援継続等)	☆☆☆	前年に引き続き、市内に定住し就業した新規学卒者にふるさと定住支援金を支給し、地域の担い手となる若年者の定住促進と地域の活性化を図った。 これまで取り組んできたIJUターン就職支援事業は相談件数、就職件数ともに増加している。今後も引き続き取り組むとともに、R4年度に作成したWEB版市内企業ガイドを活用し市内就職の促進を図る。 就農については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が見送られていた新規就農相談会へ積極的に参加し就農相談を行った。 今後もあらゆる機会でも新規就農者の確保に努める。
	(3) ※再掲 出産祝い金の増額や子育て支援の充実で若い世代の負担を軽減	☆☆	令和3年度から、出生祝金を1人当たり10万円に増額(以前は出生数に応じて1万円～10万円) 令和4年度は国の事業を活用し、1人当たり最大20万円を給付 引き続き、子育て支援の充実に努めていく。

## 市長公約の進捗状況表

※進捗状況を星の数で評価 ☆～☆☆☆

大項目	項目	進捗状況	取組状況(今後の予定含む)
6 人口減少対策	(4) 定住促進課(仮称)の新設	☆☆☆	人口減少対策の取組を推進するため、令和3年4月に総合政策課内に「定住促進室」を設置し、更なる機能強化を図るため、令和4年4月に「移住・定住推進課」を新設。 令和4年度には、移住者を対象としていた空き家活用推進事業補助金について、市内在住の子育て世帯等を対象に加えることにより、若年層の市外転出を防ぎ、定住促進を図った。
	(5) ※再掲 生涯暮らし続けられる体制づくり(介護担い手の確保)	☆☆	令和4年度は、介護学生奨学支援金給付事業により2人に奨学金を給付した。 令和5年度は、従来の大学・専門学校在学の学生以外に、翌年度進学を希望する高校生にも募集をかけることとし、介護福祉士を目指す学生を増やす対策に取り組み、また、復職者の掘り起こしや離職者を減らす対策の検討を行い介護人材の確保に取り組む。
7 基金に頼らない財政運営	(1) 公用車通勤の廃止	☆☆	市長就任時から、公務や安全管理の事情がある場合を除き、自家用車通勤を実施した。 令和4年度以降は、これまでの実施を踏まえ熟慮した結果、市長の重責を果たすためには、通勤時間も公務時間として有効に活用する必要があると判断し、原則として送迎による通勤とする。
	(2) 市長の報酬一部カット(コロナ感染症収束まで一定期間)	☆☆☆	令和4年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、市長の給与を減額した。 令和5年度についても、当面の間、感染対策等、感染症の状況を見る必要があると判断し、さらに1年間、同内容で延長することとした。(市長給料を10/100減額)
	(3) 国や県との強力なパイプの再構築	☆☆	総務省から副市長の派遣を受け、施策を推進している。 令和4年度は、前年度と同様コロナ禍で活動が難しい状況であったが、県や国会議員、総務省等への要望活動などを通じて、本市への理解促進とパイプの再構築を図った。 要望した必要な特別交付税が増額確保できた。

## ■令和4年度に取り組んだ主な事業・出来事

### 新型コロナ・物価高騰対策

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業  
令和5年2月末現在、オミクロン株対応ワクチン接種率県内15市中1位
- PCR検査実施事業  
新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、予防接種やPCR検査の費用を助成
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付事業  
コロナ禍の原油価格・物価高騰総合緊急対策として、新たな給付対象者に10万円給付
- 子育て世帯生活支援特別給付事業  
コロナ禍の原油価格・物価高騰総合緊急対策として、対象となる子育て世帯に5万円給付
- コロナ禍の原油価格・物価高騰総合緊急対策  
対象世帯に対し、住民税非課税世帯等臨時特別給付事業として10万円、子育て世帯生活支援特別給付事業として児童一人当たり5万円給付
- 医療機関等エネルギー価格高騰緊急支援事業  
エネルギー価格高騰の影響を受けている医療機関、障がい福祉・介護サービス事業所の負担を軽減し事業継続を支援
- 農家への高騰対策支援事業  
肥料・畜産飼料等の価格高騰によるコスト軽減を図り、離農を防ぐため、米・園芸農家及び和牛乳牛飼育農家を支援
- グリーン農業推進事業  
化学肥料からの転換を後押しすることにより生産コストの軽減を図り、農家の経営安定化のため、国の肥料価格高騰対策制度の適用を受けた農家に対し上乗せ助成
- 公共交通事業者等緊急支援事業  
原油価格及び物価の急激な高騰の影響を受ける交通事業者等の事業継続を支援

### 産業・経済

- 豊永営農団地開発事業  
豊永営農団地を2.7ha追加造成し、2.4haの新たな圃場を確保
- アグリツーリズム推進事業  
地域資源を生かした地域活性化を目指し、草間のヴィラージュかれんふえると2棟を改修
- 優良種雄牛精液導入事業  
種牛の品質向上と農家の所得向上を図るため、和牛農家へ優良種雄牛の精液や受精卵を配布
- 鹿児島全共に7頭が出場  
鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会」に、岡山県の代表として本市から7頭が出場し、新見高等学校が優等賞4席を受賞
- 未来へつなぐ新見の林業会議設置  
林業の成長産業化を目指し、行政・林業関係者による「未来へつなぐ新見の林業会議」を設置し、課題と展望を共有するとともに林業の在り方を示す新見市森林ビジョンへ意見を反映

- ICOCAを活用した地域活性化プロジェクト事業  
地域におけるキャッシュレス化を推進し、市民の利便性の向上や市内消費の拡大を図るため、オリジナルICOCAカードを配布しにーみんポイントを付与  
付与ポイント 11,000ポイント(当初5,000P 12月、2月各3,000P追加)
- FAN2022初開催  
9月17日、憩いとふれあいの公園周辺で、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を目的として、新たにいみのまつり「FAN2022」初開催
- 市観光パンフレット観光庁長官賞を受賞  
日本地域情報コンテンツ大賞表彰式において、本市の観光パンフレットが、観光部門でトップとなる「観光庁長官賞」を受賞
- 岡山デスティネーションキャンペーン関連事業  
JR等が主体となって実施する大型観光キャンペーンに合わせ、新見美術館で、当時D51に装着していた鳳凰エンブレムの特別公開など様々なイベントを実施。寝台特急「瑞風」や特急「はるか」が新見駅に停車

## 健康・福祉

- 哲多認定こども園整備事業  
哲多地域に新たな認定こども園を整備。令和5年4月開園
- 移動販売車購入支援事業  
高齢者や周辺部の買物支援のため、移動販売事業者に対し車両購入費の一部を助成
- 哲西老人福祉施設改修事業  
哲西荘の空調・換気・給湯・ろ過設備等の改修を行い、施設利用者に安全・快適な環境を提供
- げんき広場にいみ改修事業  
利用しやすい施設とするため、健康増進施設げんき広場にいみの大規模改修を実施

## 教育・文化・スポーツ

- 知・徳・体のバランスがとれた教育の充実  
ドローンを活用した、新たなプログラミング教育、「論語」を題材に規範意識・思いやりの醸成、県内でいち早く、全ての小学校においてフッ化物洗口を実施
- 小学校大規模改修事業  
学校施設長寿命化計画に基づき、西方小学校の大規模改修を実施
- ICT教育推進事業  
タブレットや電子黒板等を活用してICT教育を推進するため、ICT指導員・支援員を配置
- 市内高校の魅力化推進  
通学定期の半額を助成するほか、高校の魅力向上のため、オリジナル商品の開発等の取組を支援
- 人間国宝 伊勢崎淳 備前の世界  
2月4日～4月9日、新見美術館で、備前焼の人間国宝 伊勢崎淳氏の展覧会を開催
- 新見高校ソフトボール部(男子) インターハイ2年連続準優勝  
新見高校が、第57回全国高校総体で県勢初となる2年連続準優勝の快挙

## 安全・生活基盤

- 緊急自然災害防止対策事業(道路・河川)  
災害の発生及び拡大を予防するため、令和7年度までに集中的に道路防災工事及び護岸改修を実施

- 雨水対策河川改良事業  
令和元年9月豪雨を受け、太田谷川・風木谷川の氾濫防止のため、雨水対策事業を実施
- 消防団員確保対策事業  
地域防災力の強化に欠かせない消防団員確保のため、団員等の報酬を増額
- ドローン運用体制構築事業  
災害時などの情報収集のため高性能ドローンを配備し、専門の操縦士を養成
- 消防庁舎整備事業  
令和6年度中の完成を目指し新たな消防庁舎の整備に着手。令和4年度は用地購入、基本・実施設計などを実施
- 消防自動車購入事業  
マンションなどの火災に対応できる多目的消防ポンプ車1台を整備
- 自動車急発進防止装置整備費補助事業  
高齢運転者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故を防止するため、急発進抑制装置の購入費用の一部を助成
- 新見市役所本庁舎附属棟整備事業  
本庁舎西棟を解体した跡地に防災の拠点となる施設を新たに整備するため、西棟の解体及び実施設計に着手。令和6年度完成予定

## 都市基盤・交通

- コンビニ収納及びスマートフォン決済導入事業  
市税や上下水道料金等のコンビニ納付とスマホ決済の環境を整備
- 新見駅周辺まちづくり検討事業  
基本構想を策定し、民間活力を導入し事業化の検討を開始。新見駅にWi-Fi環境を整備
- 金谷地区土地区画整理事業  
事業化に向け、地質調査、区画整理設計、想定換地設計、事業計画書の作成に加え、道路および橋梁の予備設計等に着手
- 地域公共交通計画策定事業  
地域に適した持続可能な交通ネットワークを構築するため、新たな地域公共交通計画を策定
- 予約型区域運行実証事業  
持続可能な交通体系を構築するため、哲西地区及び神郷・千屋地区で予約型乗合タクシーの実証運行を実施

## 環境

- 環境基本計画策定事業  
市民・事業者・市民団体とともに環境に関する施策を総合的に推進するため、R14年度までの新たな計画を策定
- 住まいの脱炭素促進事業  
家庭での脱炭素化を促進するため蓄電池や太陽光発電設置に係る経費の一部を助成
- 地域再生可能エネルギー導入目標策定事業  
2050年脱炭素社会の実現に向け、本市の再生可能エネルギー導入に係る目標を設定

- PPA事業による給食センターへの太陽光発電設備の整備  
「ゼロカーボンの実現に向けた連携協定」に基づき、株式会社ガットが新見市学校給食センターへ太陽光発電設備を設置。3月から給食センターと新見南認定こども園への電力供給を開始
- 森林環境譲与税を活用した各種事業  
森林所有者が管理できない森林について、市が仲介役となり所有者と経営者をつなぐ新たな森林管理システム構築や、中古林業機械購入補助、植林労働支援などを実施

## 交流・コミュニティ

- 空き家活用推進事業  
市内に定住する移住(希望)者が空き家を購入・改修等する経費の一部を支援  
令和4年度から、対象者を40歳以下または子育て中の市内在住者に拡大
- ふるさと納税推進事業  
取り扱いサイトの追加やWEB広告・JR構内での広告など広報を強化し、目標の寄附金額1億円を達成
- 地域運営組織が18地域に  
小規模多機能自治に取り組む地域運営組織が新たに7地域で設立され、合計18地域に拡大  
財政支援として小規模多機能自治一括交付金の交付や、活動拠点整備・改修を実施
- NIU新見駅西サテライトがオープン  
様々な世代が広く交流し、新見駅前のにぎわいを創出する地域に開かれた施設として、NIU新見駅西サテライトがオープン

## その他

- 大規模な組織・機構改革  
人口減少、脱炭素、公共交通など諸課題への対応や、基幹産業である農林畜産業施策の充実・強化を図るなど、効率的な行政運営の推進と社会情勢や市民ニーズに的確かつ柔軟に対応するため、市役所組織の機構改革を実施
- DX推進アドバイザーの活用  
デジタル化の推進にあたり、外部人材を登用し、専門的知識や経験を活用

## 協定の締結

- 災害時における西日本電信電話株式会社の施設の使用に関する協定  
西日本電信電話株式会社 岡山支店  
令和4年8月10日
- 大規模災害時の避難所における人的支援に関する協定  
公益社団法人 岡山県柔道整復師会  
令和4年8月30日
- 包括連携協定  
日本生命保険相互会社倉敷支社  
令和5年1月23日
- 雇用対策協定  
厚生労働省岡山労働局  
令和5年2月13日
- 包括連携協定  
住友生命保険相互会社岡山支社  
令和5年2月21日